

情報



ほうふ11月号



第一〇二二回
防府天満宮 御神幸祭

令和七年十一月二十二日

目
の
落
る
方
へ
水
の
系
水
る
方
へ

ふ
ろ
と
を
あ
ゆ
む

山
銘
建

山頭火の魅力を訪ねて



光と影の対比が美しさを引き立てる

日の落ちる方へ
水のながれる方へ
ふるさとをあゆむ

山頭火

表紙の句は、昭和9年（1934年）11月21日、防府天満宮の御神幸祭が執り行われた日に詠まれました。当時山頭火は小郡の^{ごちゅうあん}其中庵に住んでいましたが、車で防府までやって来ています。日記には「宮市の天神祭万歳だ、よし、私も参詣しよう。」と書かれています。天満宮に参詣してお祭り気分を味わった後は、西に向かって佐波川にかかる新橋の方まで歩き、その道中では大行司小行司の行列を見たようです。自分が子どものころと変わらない防府の自然や、変わらず続いている御神幸祭を見て、なつかしさもひとしおだったのでないでしょうか。

山頭火のふるさとである防府市では、種田酒造場の破産や夜逃げ、乞食坊主、また酒癖の悪さなど悪いイメージが知られています。それでもなぜ山頭火が人気なのか。その理由を高張さんに教えていただきました。

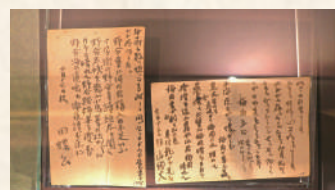
―光と影が山頭火の魅力―

山頭火の悪いイメージはよく知られています。しかしそのようなイメージがあっても、山頭火が人気なのは、やはり俳句の力です。山頭火の俳句は難しい言葉を使わずに、口語的な言葉で詠まれており、誰にでも親しみやすい点が特徴です。好きな事をして自由に旅をした自由奔放な生き方も人気の理由ですが、実際は生涯を通じて多くの困難や挫折を味っています。山頭火の様々な感情や思い



たかはり ゆうこ
高張 優子 さん

2017年山頭火ふるさと館開館当初から学芸員を務める
お茶の水女子大学大学院
比較社会文化学専攻博士前期課程修了



光の部分をも未来に伝える

が込められた俳句は、私達の心が弱った時、寄り添い支えてくれます。山頭火は生涯を通して多くの俳句を残していますので、共感できる物が必ず見つかります。ぜひ多くの俳句に触れ、共感できる部分を見つけてください。

多くの苦労の中で生まれた光の部分である俳句の魅力を、特に影の部分も多く知る市民の方々には伝えていきたいと思っています。山頭火の俳句は短い言葉でも映像的であり、絵画的な想像力を駆り立てます。現に多くの画家や版画家が山頭火の俳句から作品を作っています。俳句を詠むと、皆さんも情景が浮かぶのではないのでしょうか。

山頭火ふるさと館では、色々な視点から山頭火を感じることが出来る企画展を開催しています。現在開催中の企画展は、「現代によみがえる山頭火」と題し、漫画やゲーム、ラーメンにお酒と俳句からは離れた別の視点から山頭火を感じることができます。休憩スペースやショップもありますので、どうぞお気軽にお越しいただけたら幸いです。



旧小林写真館本店 小林 銀汀 撮影



© 2016 EXNOA LLC
『月に吠えらんねえ』 清家雪子作・講談社月刊アフタヌーン刊



防府〇〇さんぽ

一年礼地区

東大寺別院阿弥陀寺

防府市牟礼 1864

後白河法皇のご冥福を祈るとともに、東大寺再建や宗教活動の拠点である7別所のひとつとして、重源上人によって1187年に建立されました。

「アジサイ寺」として知られていますが、秋の紅葉を楽しむこともできます。



春日神社

防府市牟礼 1354

阿弥陀寺の創建に伴い、その鎮守社として1186年に創建したものとわれています。

春日鬼太鼓は、中学生までのこどもたちの太鼓隊です。地域のお祭りやイベントで演奏しています。写真は、今年7月26日に行われた防府おどりでの演奏の様子です。

たかのみや
高乃宮

防府市牟礼 1548-1



▼御神火大祭(火渡式)



すべての根源である「大祖参神」を祀っています。また、富士山、石鎚山、大峯山等の山の神々を崇拝し、殊に富士山を基盤としています。

11月3日(月・祝)に、御神火大祭(火渡式)が行われます。

11月3日(月・祝)は「やまぐち農林業の知と技の拠点祭」

※車は「道の駅潮彩市場防府」西側駐車場に駐車し、
無料シャトルバスをご利用ください。



東大寺別院
阿弥陀寺

鬼面

春日神社

山口県農林総合技術センター
「農林業の知と技の拠点」

高乃宮

鬼面

この地域に古くから
伝承されている鬼面を
形象したものです。



山口県農林総合技術センター 「農林業の知と技の拠点」

防府市牟礼 10318

令和5年4月、山口市の農業試験場と林業指導センターが防府市の農業大学校に移転・統合され、「農林業の知と技の拠点」となりました。山口県の農林業の発展のため、人材育成や新技術の開発等を行っています。



かつま 一勝間地区一

あめのみなかぬし くるまづかみょうけん 天御中主神社(車塚妙見神社)

防府市車塚町 5-38



こどもの神様、商売繁盛の神様が祀られています。創建は推古天皇 24 年とされています。社殿は車塚古墳を削って建てられており、大内氏ゆかりの神社です。

秋の例大祭では、「赤ちゃん泣き相撲」が行われます。先に泣いた方が勝ちというもので、こどもの健やかな成長を願う大会です。

車塚古墳



古墳時代後期(6 世紀後半)の前方後円墳です。横から見たシルエットが昔の車の形にも似ているため、「車塚」と呼ばれます。

旧勝間神社



1871 年(明治4年)、
かなきり 金切神社、勝間神社、
こくちよう 國廳八幡宮、ひえ 日吉神社
の 4 社が合併し、「佐波神社」と改称しました。



◀ 佐波神社
(防府市惣社町 6-2)

防府天満宮 御神幸祭 (裸坊祭)

11 月 22 日(土) 御発輦 18 時～



西日本屈指の勇壮なお祭りで、「兄弟わっしょい」の掛声と共に、裸坊が一斉に拝殿になだれ込み、境内は一気に熱気を帯びます。



ほうしょうあん 芳松庵の紅葉

芳松庵は、平成 3 年に建てられたお茶室です。その庭園は、四季折々、美しい景色が楽しめます。秋は紅葉を眺めながら、お抹茶をいただくことができます。



防府天満宮御旅所 勝間の浦



菅原道真公が九州へ下る際、この地に着船したと伝えられています。

裸坊祭では、防府天満宮から御網代輿が運ばれ、「^{はまどの}浜殿神事」が行われます。



100歳の長寿をお祝いしました

防府市では今年度62名（令和7年9月1日現在）の方が百歳を迎えられます。9月12日（金）、百歳を迎えられる3名のお宅を市長が訪問し、お祝いを申し上げます。これからもお元気にお過ごしください。

☎ 高齢福祉課 (☎ 25-2973)



高齢者 400 人が熱戦!!

9月18日（木）ダイキョーニシカワ スクエア ソルトアリーナ防府で「第53回防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会」が開催されました。各地区から最高齢93歳の方を含む60歳から90歳代の約400人が参加し、ボッチャやモルック、パン取り走等6種目で熱戦を繰り広げました。

☎ 高齢福祉課 (☎ 25-2973)



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会出場選手等壮行式

9月22日（月）、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025（国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）の壮行式が開催されました。防府市からは81人の選手・監督が出場されました。

☎ スポーツ振興課 (☎ 25-2274)
障害福祉課 (☎ 25-2387)



宮中行事「新嘗祭」に献上される米を収穫

10月4日（土）、宮中行事新嘗祭で献上される米を刈り取る「ぬいぼしき拔穂式」が植松にある原田 剛はらだ たかしさんの田んぼで行われました。「新嘗祭」は毎年11月に行われる米の収穫を祝う宮中祭祀で、全国各地からその年に収穫された米が献上されます。原田さんは今年、県の代表として皇室に献上する米をつくる「奉耕者」に選ばれ、献上米を育ててきました。原田さんをはじめ参加者は稲に鎌を入れ1株ずつ収穫しました。

☎ 農林水産振興課 (☎ 25-2358)



学校給食米を収穫しました

防府市農業公社では、今年度から、遊休農地を活用し、小中学校給食米の栽培を始めました。9月24日（水）、地域おこし協力隊や公社の研修生も参加し、収穫作業を行いました。年内には、地元産のおいしいお米がこどもたちに届けられます。

☎ 農林水産振興課 (☎ 25-2235)



すべて一等米でした！

マラソンの季節がやってきました！

10月5日（日）、佐波川河川敷で佐波川ロード記録会 2025 が開催されました。市内外から約300人の小学生から高齢者までが参加したほか、毎年市内で合宿を行う実業団選手やレジェンドランナーの伊藤 国光いとう くにみつさんも参加し、秋晴れの佐波川を駆け抜けました。これから防府市では12月7日（日）開催の防府読売マラソン大会に向け、本格的なマラソンシーズンを迎えます。

☎ スポーツ振興課 (☎ 25-2274)



特別展

上山満之進と 東台湾臨海道路



上山満之進・枢密院顧問時代写真

三哲文庫の父

上山 満之進

上山満之進は明治2年(1869年)に牟礼江泊村に生まれ、11歳で周陽学舎(現在の防府高等学校)に入学し、山口高等中学校を卒業後、防長教育会の支援を受けて帝国大学に進みました。その後は官界に入り、農商務省山林局長や熊本県知事などを歴任、大正7年(1918年)には貴族院議員となった後、当時日本が統治していた台湾の総督に着任しました。昭和10年(1935年)には枢密院顧問官に就任しています。昭和10年(1935年)、防府町(当時)に図書館(三哲文庫)の設立寄附を申し出ましたが、完成を見届けることなく昭和13年(1938年)に68歳で亡くなりました。上山が台湾総督を辞任する際、画家の陳澄波に制作を依頼した絵画「東台湾臨海道路」は、彼の没後防府市に寄贈され、今では防府市と台湾をつなぐ架け橋となっています。

2025 11/8[土]~11/16[日]

開場時間 | 午前9時~午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料 | 無料

会場 | 防府市文化センター 防府市役所本館8階



市庁舎



8階文化センターレプリカ展示写真

市役所8階の防府市文化センターでは、「東台湾臨海道路」のレプリカを常設展示しています。特別展期間中は、「東台湾臨海道路」を特別公開します。

問合せ先

防府市文化スポーツ観光交流部 文化振興課

TEL 0835-25-2768 (受付時間8:30~17:15 土日祝休み)

絵画「東台湾臨海道路」 特別公開!!



「東台湾臨海道路」陳澄波 作